

令和5年度 第3回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 議事録

日 時：令和6年2月14日(水) 14:30～16:00

場 所：鹿島高等学校赤門学舎 会議室

参加者：20名【委員(10名)】【事務局(4名)】【校内委員(4名)】【教育振興課(1名)】
【キャリアラボスタッフ(1名)】

配布資料

① 第3回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 会議資料

- ・令和5年度活動報告
 - 学校運営協議会活動報告
 - SCS 活動報告
- ・魅力化評価部会より
 - 学校評価（最終報告）
 - 魅力化評価システム12月実施分結果について
- ・キャリア教育部会より
 - 旭ヶ岡キャリア塾 stage2 について
 - 旭ヶ岡キャリアラボについて
- ・地域連携部会より
 - 令和5年度活動実績報告

② 「旭ヶ岡キャリアラボオープン」案内チラシ

③ 「旭ヶ岡キャリア塾」案内チラシ

<会順>

開会

I 学校長挨拶

- ・委員の皆様への謝辞
- ・本日の旭ヶ岡キャリアラボ開設について

II 会長挨拶

- ・旭ヶ岡キャリアラボについて
- ・各部会が三位一体となって進めていく

III 議事

1 令和5年度活動報告

学校運営協議会活動状況報告

- ・活動状況、成果と課題について

SAGA コラボレーション・スクール (SCS) 活動報告

- ・目標と成果
- ・次年度へ向けて

2 魅力化評価部会より

学校評価（最終報告）

- ・学力向上で、国公立大学合格者数は確定していないため3月末に修正する
- ・いじめへの対応はおおむね定着してきたので、今後は相手に寄り添う心を養う教育の実践等の予防的対策を行っていく
- ・C評価のヘルメット着用については、取り組みの一つとして新入生への物品販売日にヘルメット購入ができるようにした。今後も自主的な取り組みでの着用にこだわって指導していく

魅力化評価システム結果について

- ・否定的回答数は7月と12月ともに同数だが、回答数が減ったため、肯定的な回答数の増加には至っていない

3 キャリア教育部会より

旭ヶ岡キャリア塾 stage2 について振り返り

- ・昨年度の16講座から20講座に増やしたことで、生徒の興味や関心に対応したものとなった

旭ヶ岡キャリアラボについて

- ・旭ヶ岡キャリアラボ設置要綱
- ・旭ヶ岡キャリアラボ運営に関する規定
- ・旭ヶ岡キャリアラボスタッフ紹介（ラボ長挨拶）
- ・旭ヶ岡キャリアラボ開設に向けた準備
- ・次年度へ向けて

4月からは、鹿島市の地域おこし協力隊にも協力してもらう。鹿島市にある仕事の紹介など連携してやっていく

4 地域連携部会より

令和5年度活動報告について

- ・地域連携活動「高校生サポーター」「高校生ティーチャー」
- ・教育課程における地域連携・外部人材連携「鹿島さいこうプロジェクト」

活動した生徒の感想

- ・やりがいを強く感じた

成果と課題

- ・参加者が大きく増加した
- ・ボランティア活動の精選や教職員のかかわり方を考え、効果的な鹿島高校の情報や魅力発信の工夫が必要
- ・人が集まれる場所を作る

5 その他

委員より、「韓国語短期研修」案内

鹿島市と釜山外国語大学校が協定を結んでいて交流がある関係で、夏に短期研修を計画している。5月より募集開始。鹿島にある高校（鹿島高校）の生徒に限定。

<意見等>

副校長：国公立大学の合格者と、鹿島高校への志願率の結果によって、最終評価をBにする場合は、学校関係者評価も連動してBにすべきか？

委員：努力は評価すべき。そのままよい。

委員：旭ヶ岡キャリア塾 stage2 では、生徒から、「自分を変えてくれるきっかけになる言葉をもらった」「自分の将来の選択が広がった」などの感想があり、背中を押すことができたと思う。

委員：キャリアラボは、必ず相談しなければならないのではなく、考える場所や時間を提供し、場合によっては助言できるようなことでも良いのではないか。

教育振興課：会の前にキャリアラボ室を見学してきた。部屋に区切りがあり相談しやすいと思う。広まって、生徒一人一人のメンターとなれるようにしていただければ。看板がすごいと思った。

委員：ラボ室の仕切りは閉鎖的にも思える。今後、運用しながら良い方向に変えていきたい。

副校長：キャリアラボだけでなく、外に出ても繋がれるようになればいい。

校長：新年度の課題として、2024SAGA 国民スポーツ大会や北部高校総体への生徒の動員がある。高校生の疲弊に気を付けて、負荷がかからないよう配慮していく。地域連携部会への影響は不明。

閉会

旭ヶ岡キャリアラボの見学